

# 嚥下通信

Vol.29

嶋田病院 摂食嚥下研究会

テーマ  
認知症患者に対しての  
口腔ケア方法

## 口腔ケアの重要性

口の中の衛生を保つことは、誰にとっても重要です。口の中が不衛生だと虫歯や歯周病、口臭の原因になるだけでなく糖尿病、認知症などを引き起こす可能性があります。そのためです。認知症の方における口腔ケアは次のような重要な意味があります。

認知症の進行を  
緩やかにする

口の機能を維持する

誤嚥性肺炎を防ぐ

食欲が増えて  
栄養不足を防ぐ



## 口腔ケアを嫌がる理由

認知症になると、理解力や集中力が低下してしまうことがあります。そのため、口腔ケアの目的がわからなくなったり、不安を抱いたりして、口腔ケアを嫌がる認知症の方も多くいます。嫌がる理由として考えられるものを以下に挙げました。

- ◆ 口腔ケアの必要性がわからない
- ◆ 口の中を触られるのが嫌、口の中に痛みがある
- ◆ 何をされるかわからないので恐怖や不安を感じている
- ◆ 歯ブラシを見せられても何の目的に使うものかわからない
- ◆ 以前に歯磨きで嫌な思いをしたことがある



## 口腔ケア拒否の対応方法

- ①ご本人の好きな会話から始めてみよう
- ②説明は進めるたびに行おう
- ③歯みがきの動作を混ぜて説明しよう
- ④ときには時間を空けたり、日を改めよう
- ⑤声かけを工夫しよう



日々、口腔内を観察することで異常の早期発見に繋がり、重症化を予防することができます。認知症の方が安心して口腔ケアを受けられるよう、まずは優しい雰囲気作りから始めましょう。

看護師：鍛田

掲示許可シール  
貼付スペース